

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

総合学科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みしましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	公民	現代社会	
3	保健体育	体育	
4	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
5	国語	国語表現	選択1
6	外国語	英語理解	選択1
7	家庭	子どもの発達と保育	選択1
8	芸術	構成	選択1
9	情報	情報実習	選択1
10	保健体育	総合スポーツ	選択1
11	理科	生物基礎	選択2
12	農業	グリーンライフ	選択2
13	農業	職業ライセンス	選択2
14	家庭	食文化	選択2
15	福祉	手話入門	選択2
16	商業	簿記実習	選択2

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・現代文B		単位	3	履修区分	必修
対象学年・類型・コース		3年 総合学科 共通					
使用教科書		『新編 現代文B』教育出版					
目標とする生徒の将来像		近代以降の様々な文章を的確に理解できること。語句の読み書きや意味、慣用句等を適切に使えるよう知識を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深めていく。また、読書に興味関心を持ち、人生を豊かにする態度を育ててほしい。					
評価の観点		①関心・態度・意欲：国語で理解し表現する力を養うために向上心をもって取り組んでいるか。 ②話す・聞く力：目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させているか。 ③書く力：必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。 ④読む力：文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。 ⑤知識・理解：言語文化及び言葉の特徴等について理解を深め、知識を身に付けているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1学期	第1回定期試験	○日本社会の特徴を知り、社会人としてあるべき姿を意見文にしよう 「『である』ことと『すること』」 ○登場人物の心理を整理しながら読み、小説の結末の意味を話し合おう 「土神と狐」	・筆者の主張を的確に読み取り、用いられている概念や論理を現実の事象に当てはめて説明できる ・土神の心理をたどりながら結末の場面の意味を考えることができる	③「である」と「すること」ということ基準を適用し、意見文を書くことができたか (記述の点検) ②狐の死と、土神の泪の意味を考え、説明しているか (行動の観察)	ABC評価及び相互評価による添削 相互評価		
	第2回定期試験	○現代(資本)社会における私たちの衝動や欲望について考えよう 「欲望と資本主義」	・「欲望」発生のメカニズムと市場経済の動きがどのように連動しているかを考えることができる	④「欲望」と「資本主義」への考え方を理解し、具体的事例を想起した意見か (記述の点検)	ABC評価		
2学期	第3回定期試験	○多角的な視点から作品の主題を考える方法を学ぼう 「高瀬舟」「高瀬舟縁起」「流人の話」 ○常識的な見方や考え方を打ち破る思考に挑戦しよう 「ミロのヴィーナス」 ○作品の背景を理解しながら詩に込められた感情を味わってみよう 「樹下の二人」	・「高瀬舟縁起」「流人の話」を読み、主題を見つけることができる ・文章の構成や論理の展開を正確におさえながら筆者の主張を正しく理解できる ・詩の背景と作者の心情を理解できる	②作品の主題を考え、説明しているか (行動の点検) ④完璧美が欠落するミロのヴィーナスが感動を与える理由を説明している (行動の観察) ①高村光太郎の、智恵子への愛情について考えようとしているか (行動の観察)	ABC評価 ABC評価 ABC評価		
	第4回定期試験	「表札」 ○寓話から現代社会の問題点を俯瞰しよう	・アイデンティティという概念を理解し、「表札」という題で詩を作ることができる ・「靴」が何を意味するのかを考え、作品のテーマを読み取る	③一個人としての「精神の在り場所」を理解した詩の創作か (記述の点検) ④作品の寓意と「自由」について考えたことを説明しているか (行動の観察)	ABC評価 ABC評価		
3学期	第5回定期試験	○寓話から現代社会の問題点を考え、意見を言ってみよう	・「掟」「男」「門番」はそれぞれ何を意味しているかを考え、この作品の寓意を読み取る	②「掟」の意味するもの、また「掟」について理解している (記述の観察)	ABC評価		
検定資格(時期) 諸費用(予定)		準会場として日本漢字能力検定を年3回(7月・10月・2月)実施。校外においても受験できるので積極的に挑戦してください。検定料は、級によって異なりますが2,000円~3,500円。					
履修にあたって		板書をノートに写す作業は学習の一部にすぎません。本文に根拠を求め、「自分の考えを深め、発展させる」ことが求められています。自分なりの意見や考えをまとめ、発言できる訓練をしてください。また、自分の読解力を評価する手段として模試を受けましょう。					

教科・科目	現代社会	単位数	2
学年・系列・コース	3年食品化学科・果樹園芸科・総合学科		
使用教科書	最新現代社会(実教出版)	副教材	
目標とする生徒の将来像	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。</p> <p>【思考・判断】現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。</p> <p>【資料活用の技能・表現】現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。</p> <p>【知識・理解】現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。</p>		
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力	評価の観点
1 学期	第1部 第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのテーマについて、調べ学習をし、問題点を把握できる 調べたことを、他の生徒の前で発表できる 	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】
2 学期	第2部 1 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる 第3章 日本人としての自覚 2 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 青年期とはどのような期間か、自らの問題としてとらえる 法の支配・三権分立とその重要性を理解する 議会や選挙の原理を理解し、日本の制度を説明できる 自由主義と社会主義の体制の違いを理解する 	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】
3 学期	3 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活 4 第1章 国際政治の動向 第2章 国際経済の動向と国際協力 第3部 共に生きる社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解する。 経済の基本的な概念や理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。 日本の財政の現状を理解し、経済活動のあり方と福祉の向上について考察し、日本経済が抱えている問題について認識する。 	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】
検定資格(時期)	特に予定していません。		
諸費用(予定)			
履修にあたって	現代社会を理解するためには、膨大な情報の中から、適切な情報を自ら選択していかなければならない。まず、新聞やニュースなどを常にチェックし、社会の動きに敏感になることが必要である。その上でわからないことがあれば、自ら調べ、考える。その際、物事は必ず多面的にとらえることができるということを前提に、複数の意見を知るようにする。 授業においては、まず話を良く聞き、大事だと思ったところは自分なりにチェックしておく。常に現実社会で起きている出来事と関連づけて考えるようにし、わからない言葉などは必ず調べ直すようにする		

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・体育		単位	2	履修区分	必履修・必修・選択	
対象学年・類型・コース		3年総合学科						
使用教科書		なし						
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。 ・運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。 ・積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。 						
評価の観点		①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学期	第1回定期試験	・体づくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動）	・基礎的な運動能力を身につける ・大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C			
	第2回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
2 学期	第3回定期試験	・ペース走	・自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
	第4回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
3 学期	第5回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール ・体育理論	・球技選択 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 ・体育理論 生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
検定資格(時期)		なし						
諸費用(予定)								
履修にあたって		チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をるところから体育の授業は始まります。お互いに100%で授業に臨みましょう。						

平成30年度シラバス	外国語（英語）	山梨県立笛吹高等学校
------------	---------	------------

科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2単位	学年	3年	学科	総合学科	コース	—
使用教科書	Vivid English Communication II						コード	183 第一コⅡ323	
副教材等	Work&Drill（第一学習社）								
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 具体的言語活動は次の通り。 ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。								
評価方法	定期試験75%程度 日常の学習活動25%程度(①小テスト・②授業活動への参加・③提出物・④英単語テスト・⑤標準考査)								

学期	考査	単元名	主な学習内容と評価のポイント(☆重点項目)	Can-do リスト	評価方法
1 学期	第 1 回	Lesson 6	・小笠原諸島の地理・歴史的背景について読み取ることができる。 ・なぜ「東洋のガラパゴス」と呼ばれているか読み取ることができる。 ・なぜガラパゴスが世界危機遺産に指定されたのか読み取ることができる。 <文型・文法事項> 「時」や「理由」などを表す副詞節/分詞構文(現在分詞)/「推量」を表す助動詞/ 助動詞+have+過去分詞	【読】 Grade 4 【聞】 Grade 4 【書】 Grade 4 【話】 Grade 4	定期考査 および ①②③④ ⑤
	第 2 回	Lesson 7	・ジョン万次郎の人生について読み取ることができる。 ・万次郎が新しい国作りに与えた影響について内容を読み取ることができる。 ・万次郎がどのように英語力を培い、活かしたのかについて読み取ることができる。 <文型・文法事項> 「時」や「理由」などを表す副詞節/分詞構文(過去分詞)/関係代名詞…前置詞	【読】 Grade 5 【聞】 Grade 4 【書】 Grade 4 【話】 Grade 4	定期考査 および ①②③④ ⑤
2 学期	第 3 回	Lesson 8	・従来の交通機関の問題点やLRTの利点を読み取ることができる。 ・環境にも人々にもやさしい、新しいタイプの交通機関について読み取ることができる。 ・LRTを取り入れた富山県や国外でのLRTの普及状況を読み取ることができる。 <文型・文法事項> 仮定法過去/S+V+O+C(=原形不定詞, 現在分詞)/S+V+O+C(=過	【読】 Grade 5 【聞】 Grade 5 【書】 Grade 4 【話】 Grade 5	定期考査 および ①②③④ ⑤
	第 4 回				
3 学期	第 5 回	Lesson 9	・2003年からアフガニスタンの瀬谷ルミ子さんの活動と武装解除への取り組みについて読み取ることができる。 ・平和のための活動とそれに関わる人々の意志について考えを持ち、表現することができる。 ・将来の職業について、自分の考えを英語で表現することができる。	【読】 Grade 5 【聞】 Grade 5 【書】 Grade 4 【話】 Grade 5	定期考査 および ①②③④ ⑤

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ● 関心・意欲・態度 積極的にコミュニケーションを図ろうとし、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする。 ● 表現の能力 読んだり聞いたりしたことや学んだことに基づき、情報や考えなどについて、話しあったり、書いたりする。 ● 理解の能力 読んだり聞いたりした情報について、英語を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえたりする。 ● 知識・理解 読んだり聞いたりした情報について、英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
-------	--

* 昨年度からの継続履修

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語表現	単位	2	履修区分	選択
対象学年・類型・コース		3年 総合学科 スポーツ系列 自由選択 高等学校 国語表現 第一学習社				
目標とする生徒の将来像		国語で適切かつ効果的に表現することのできる生徒 自ら進んで表現することにより、社会生活の充実をはかることのできる生徒				
評価の観点		① 関心・意欲・態度 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解するとともに、伝え合おうとしているか。 ② 話す・聞く力 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。 ③ 書く力 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。 ④ 読むこと 自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。 ⑤ 知識理解 表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	○ 日本語の特徴 ○ 方言と共通語	・日本語の文法、語彙、音節、文字の特徴を理解する。 ・方言と共通語の特徴を理解する。	・日本語の特徴を理解できたか。 ・方言と共通語の特徴を理解できたか。	A B C A B C	
	第2回定期試験	○ 敬語の分類 ○ ニュアンスを変える助詞	・正しい敬語について理解し、適切な敬語を用いて話す。 ・文章を読んで、助詞の違いが表すニュアンスの違いを理解する。	・正しい敬語について理解できたか。 ・助詞の違いが表すニュアンスの違いを理解できたか。	A B C A B C	
2 学期	第3回定期試験	○ 日本語のレトリック ○ 古語雑談「やさし」の語史	・日常で使われている比喻表現の成り立ちを把握する。 ・日本語の成り立ちと日本人の物の考え方について考える。	・比喻表現の成り立ちについて理解できたか。 ・日本語の成り立ちについて理解したか。	A B C A B C	
	第4回定期試験	○ 時間の見方を変えるとき ○ 阜月	・意見文を読み、構成や論証の仕方を自分の表現に役立てる。 ・表現技法とその効果を理解する。	・文章の構成や論証の仕方を理解できたか。 ・表現技法について理解できたか。	A B C A B C	
3 学期	第5回定期試験	○ コップの中の論戦	・当初の論点を理解する。	・論点を理解し、自分の意見を書くことができたか。	A B C	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)						
履修にあたって		表現の授業なので、文章を書いたり、それを発表したり、相互に評価したりします。単元ごとに、レポート等の作成もします。それを評価しますので、真剣に取り組んで下さい。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		英語理解	単位	2	履修区分	自由選択	
対象学年・類型・コース			3年 総合学科				
使用教材		英検総合トレーニング準2級、英検面接練習 (PC室)					
目標とする 生徒の将来像		ア. 英検準2級に合格する。 イ. 英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる。 ウ. 出題された問題に的確に答えることができる。					
評価の観点		定期考査80%・観点別評価20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			評価法	自己 評価
1 学期	第1 回 定期 試験	英検総合トレーニング	・英検準2級に使われる語彙や表現を把握し、文章を読み取ることが出来る。			テスト 提出物 意欲	A B C
		英検面接ソフト	・マイクを使って積極的に発話することが出来る。				A B C
	第2 回 定期 試験	英検総合トレーニング	・英検準2級に使われる語彙や表現を把握し、文章を読み取ることが出来る。			テスト 提出物 意欲	A B C
		英検面接ソフト	・マイクを使って積極的に発話することが出来る。				A B C
2 学期	第3 回 定期 試験	英検総合トレーニング	・英検準2級に使われる語彙や表現を把握し、文章を読み取ることが出来る。			テスト 提出物 意欲	A B C
		英検面接ソフト	・マイクを使って積極的に発話することが出来る。				A B C
	第4 回 定期 試験	英検総合トレーニング	・英検準2級に使われる語彙や表現を把握し、文章を読み取ることが出来る。			テスト 提出物 意欲	A B C
		英検面接ソフト	・マイクを使って積極的に発話することが出来る。				A B C
検定	英語検定 (希望者：6月・10月・1月)						
履修にあ たって	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。 ・配付されたプリントをファイルにしっかり管理する。・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。・小テストには計画的に学習し、取り組む。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	家庭・子どもの発達と保育	単位	2	履修区分	必履修 ・ 選択
対象学年・類型・コース	3年・総合学科				
使用教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)				
目標とする生徒の将来像	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を身につけ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を養う。音楽・リズム、造形(折り紙)、言語(童話の読み聞かせ)、看護を手段とする表現技術の基礎を学び、保育検定4級レベルを目指します。				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】乳幼児の発達の特徴、生活と保育などについて関心を持ち、子どもの健康な成長を図ることを目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】子どもの健全育成、親子関係、少子化などについて見直し、現代の課題を見付け、その解決を目指して思考を深め表現できているか。</p> <p>【技能】乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する技術を総合的に身につけているか。</p> <p>【知識・理解】乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識を総合的に身につけているか。</p>				
学期	期間	単元・教材名	主たる目標		評価の観点
1学期		1 人間の発達の中の乳幼児期 2 発達期の変遷 ※表現活動(保育検定造形) 1 乳幼児の発育の特徴 ※表現活動(保育検定言語) ※表現活動(検定音楽・リズム) ※表現活動(保育検定看護) ○保育実習の事前事後学習 ※保育実習①(見学)	<ul style="list-style-type: none"> 人間の発達の中の乳幼児期の意義を知る。 「愛着と安全の基地」「乳幼児の能動性」について理解する。 折り図を読取り、正しく折り紙を折ることができる。 鳥魚動物植物その他を2種類以上折ることができる。 発育・発達・成長の意味を知る。 乳幼児の身体及び生理的特徴を理解する。 子どもの発達段階にふさわしい言語表現ができる。 拍子を取りながら簡単な童謡を歌うことができる。 乳幼児の身体及び生理的特徴を理解する。 保育実習の意義や目的を理解し、主体的に実習に取り組む態度を身につける。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】
2学期		1 子どもの養護 2 子どもの食生活と衣生活 3 子どもの遊び 4 子どもの生活習慣としつけ ○保育実習の事前学習・準備 ※保育実習② (児童文化財を使った実習) ○保育実習の事後学習 5 子どもの健康管理 6 子どもの事故と安全 7 子どもの生活と環境 ○保育園実習お礼作成	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた適切な養護の方法について知る。 子どもの食生活と衣生活の特徴を理解する。 簡単な乳幼児食、おやつ調理ができる。 乳幼児の発達段階に応じた日常生活の世話に関する基本的な知識を理解する。 保育所見学をふまえ、意義や目的を理解し、主体的に実習に取り組む態度を身につける。 実習報告会を通して、学習内容や成果などについて、情報を共有化できる。 総合的に自己評価できる 生活習慣の習得の意義と重要性を理解する。 子どもの健康安全を守るための保育者の役割を理解する。 園児の発達段階にあわせたクリスマスカードを作成する。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
3学期		1 保育の意義 2 保育の目標と保育者の関わり 3 家庭保育と集団保育 ※児童文化財の製作 1 子どもの福祉とは	<ul style="list-style-type: none"> 人が育つことの意味とともに子どもの成長に果たす大人の役割を理解し、具体的な援助方法を知る。 家庭保育と集団保育の役割を理解する。 今までの授業をふまえ、知育おもちゃの作成をする。 子どもの福祉の基本的な考え方について理解する。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
検定資格(時期)	全国高等学校家庭科技術保育検定4級(前期7月・1分野200円×4分野)				
諸費用(予定)	音楽・リズム、造形(折り紙)、言語(童話の読み聞かせ)、看護の4分野 前期で不合格だった場合、希望者は後期試験(後期1月・1分野200円)受験可能				
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 「発達と保育」では、実習を通して乳幼児の生活や保育などに関する基本的な知識と技術を身につけます。特に保育検定4級レベルの学習をします。 授業態度・プリント・学習ノート・の記入状況および提出状況、実習記録表、実習作品、実技試験、定期考査の成績等から総合的に評価します。 				

教科・科目	芸術 構成	単位数	2
学年・系列・コース	3 学年 普通科・総合学科		
使用教科書	高校生の美術 I 日本文教出版	副教材	
目標とする生徒の将来像	○幅広い創造活動を通して、楽しく創作に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 ○観察力及び表現力を多様な視点から分析し、理解し、感性や想像力を磨き表現する力を養う。		
評価の観点	○感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ○創造的表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		

学期	期間	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法
1 学期	4	形体・色彩 生活を彩る模様 (80 - 81)	<ul style="list-style-type: none"> 水張りの技術を習得。 アイデアスケッチを行い、主題設定及び構図を決める。 作品意図を言葉で伝えることができるか。 	下絵提出 作品提出 ワークシート提出 発表
	5	植物を描く (10-11) ○着物のデザインを考える		
	6	鑑賞		
	7 月	形体・色彩 サインのデザイン (74 - 75) ○シンボルマークを考える。		
2 学期	9	平面構成 文字の工夫とポスター (72 - 73)	<ul style="list-style-type: none"> 自分のテーマに合った言葉も考える 絵や言葉・構図で、表現の工夫を追求する。 作品意図を言葉で伝えることができるか。 	作品提出 ワークシート提出 発表
	10	○ポスターのデザイン		
	11	鑑賞		
	12 月	立体構成 パッケージのデザイン (82-83) ○段ボールで作る服飾品		
3 学期	1	ODM の作成	<ul style="list-style-type: none"> 「段ボールで作る服飾品」を撮影し、コンピュータソフトで加工しハガキにする。 作品意図を言葉で伝えることができるか。 	作品提出 ワークシート提出
	2			

履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 筆記用具、教科書、指示されたものは必ず持ってくる。 提出期限は必ず守る。守らないと評価できないため単位がもらえない。 授業態度はとてよく見られているので、大きな声で指導されないからといって油断しない。 片付けは、自分の道具だけではなく、作業した場所は必ず掃除する。
諸費用：500 円 用紙・水張りテープ・アクリル絵の具等材料費	

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	情報実習	単位	2	履修区分	選択
対象学年・類型・コース	総合学科 3学年				
使用教科書	基礎からはじめる情報リテラシー				
目標とする 生徒の将来像	1. 情報化と情報産業の発展が、社会にどのような影響を与えているかを理解する。 2. 情報技術の仕組みを知り、一般上の機器を操作する能力と態度を身に付ける。 3. 情報活用能力を身に付け、社会の発展に寄与する能力と態度を身に付ける。				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・技能】情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報社会に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【技能】情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。</p> <p>【知識・理解】情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。</p>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	テキスト プリント	タイピングの基礎を改めて学ぶ。また、ネットワークの仕組みやハードウェア・ソフトウェアについて詳しく学ぶ。希望者は7月の検定試験受験可能。	【技】【関】	
	第2回定期試験	テキスト プリント	情報モラルや情報関連の様々な問題・法律などについて詳しく学ぶ。	【知】【関】【技】【思】	
2 学期	第3回定期試験	テキスト プリント	「情報を伝える者」としての工夫や心がけなどを、作品作りを通して学ぶ。	【関】【思】【技】	
	第4回定期試験	テキスト プリント	表計算ソフトを使用した実習を行う。希望者は11月の検定試験受験可能。また、折に触れて情報モラルについて考える。	【知】【関】【技】【思】	
3 学期	第5回定期試験	テキスト プリント	・情報を伝えるための工夫や技術などについて総合的に考え、実習する。	【知】【関】【技】【思】	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	希望者は、総合学科(情報観光系列)で実施している全国商業高等学校協会主催・ビジネス文書実務検定試験・情報処理試験を受験することができる。費用は級によって異なるが1000円から2000円程度。				
履修にあたって	実習が多くなりますので意欲的な参加を求めます。スマートフォン、著作権の問題など、これからの情報科社会で必要不可欠な知識も学びます。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育 総合スポーツ	単位	2	履修区分	必履修 ・ 必修 選択
対象学年・類型・コース	3年総合学科自由選択				
使用教科書	なし				
目標とする 生徒の将来像	・スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・球技	・球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C
	第2回定期試験				A B C
2 学期	第3回定期試験				A B C
	第4回定期試験				A B C
3 学期	第5回定期試験				A B C
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	生涯にわたって運動に親しんだり、自己の体力向上及び健康の保持増進を図れるよう、運動の楽しさや、喜びを学んでください。				

教科・科目		理科・生物基礎	単位数	2	必修修・必修	選択
学年・系列・コース		3年・総合学科				
使用教科書		改訂生物基礎(東京書籍)	副教材	レッツライノート生物基礎(東京書籍)・配布プリント		
目標とする生徒の将来像		日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
評価の観点		①関心・意欲・態度:授業や実験に意欲的に取り組み、自然界の法則性を追求する姿勢。 ②科学的な思考・表現:実験や観察から科学性・法則性を見だし、考え、生徒自身の言葉で表現を行う。 ③実験・観察の技能:実験や観察を、定められた方法で正しく実施し、目的に沿った結果を導く能力。 ④知識・理解:実験や観察より導かれる理論や原理を理解し、習得する能力。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1学期	第1回定期考査	④ 生物の多様性と生態系 ① 植生の多様性と遷移 ② バイオームとその分布	植生や遷移の原理を理解する バイオームの概念を理解する 平均気温・降水量とバイオームの関わりから、どのような植物がどの地域に多いのか考える力	① 授業態度・提出物 5 ② 実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③ 実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④ 定期考査 25 ④ ワークシート 10	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C	
	第2回定期考査	③ 生態系とその保全	生態系の価値を理解し、現在の環境問題について主体的に考え、解決しようとする能力を培う	① 授業態度・提出物 5 ② 実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③ 実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④ 定期考査 25 ④ ワークシート 10	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C	
2学期	第3回定期考査	これまでの学習内容の復習 ◎ これまでの生物基礎を中心として、復習を行う。小中学校の内容の達成度を確認し、将来社会で活かせるような内容を選び、実験を中心として行う。	進学・就職どちらにせよ必要となる基礎的な知識を、実験や観察を通じて復習する。 小学校・中学校の理科の内容も場合によっては扱い、基礎的な理科の知識を習得する。	① 授業態度・提出物 5 ② 実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③ 実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④ 定期考査 25 ④ ワークシート 10	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C	
	第4回定期考査	◎ 高等学校での履修内容と義務教育段階での内容をリンクさせるために、動物の発生分野と光合成分野の発展的補足を行う。	進学・就職どちらにせよ必要となる基礎的な知識を、実験や観察を通じて復習する。 小学校・中学校の理科の内容も場合によっては扱い、基礎的な理科の知識を習得する。	① 授業態度・提出物 5 ② 実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③ 実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④ 定期考査 25 ④ ワークシート 10	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)		なし				
履修にあたって		本科目は、2年次の生物基礎の続きとして実施するため、2年次の進度によっては内容が変化する。座学を中心にビデオや実験・観察を行い、科学的な思考力を養う。教科書がすべて終わった後は、教科書の復習を行う。理科の教科の本質的な流れとして、実験や観察から分かったことを偏見無く考え、表現することが大切である。単に暗記に走らず、なぜこのような現象が起こるのか、その原理を追求してほしい。また、生物という自分の体について学習するため、生まれたときから死ぬときまで、長い間ためになる知識であることを踏まえて、意欲的に学習をしていただきたい。				

教科・科目	農業科 グリーンライフ	単位数	2	必修 必修 選択
学年・系列・コース	3学年 総合学科 自由選択B			
使用教科書	農文協「グリーンライフ」 農業030	副教材	配付資料・授業プリント等	
目標とする生徒の将来像	交流、余暇活動の展開に必要な知識と技術を習得させ、農業や農村のもつ多面的な機能と対人サービスの特性を理解させるとともに、交流、余暇活動を導入した経営の改善を図る能力と態度を育てる。これからの山梨の観光産業の発展に向けて必要となる農業の基本的な技能と、市民農園・観光農園・直売所等の基礎知識を定着させる。			
評価の観点	①関心・意欲・態度：農業に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 ②思考・判断・表現：農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 ③技能：農業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 ④知識・理解：農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。			

学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1学期	第1回定期考査	「グリーンライフ」の世界 サツマイモの栽培 農機具の基本 施肥・耕耘・植え付け	<ul style="list-style-type: none"> 交流・余暇活動をする目的やその意義の理解 地域の様々な魅力を意欲的に捉える姿勢 サツマイモを含め、身近な作物の知識の習得 基本的な農作業の知識の習得 基本的な農作業の技能の習得 	④ 定期考査 35 ② グループワーク 5 ① 授業態度・提出物 5 ④ 定期考査 20 ④ 定期考査 20 ③ 実習 10 ① 実習態度 5 計100	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
	第2回定期考査	農業・農村の機能の発見と活 サツマイモの栽培 除草・かん水	<ul style="list-style-type: none"> 農業・農村の魅力を意欲的に捉える姿勢 地域農産物の発見と栽培・加工方法の習得 農村文化の発見 かん水方法・除草技能の習得 かん水方法・除草知識の理解 	② グループワーク 5 ④ 定期考査 45 ② 課題・グループワーク 5 ① 授業態度・提出物 5 ③ 実習 5 ④ 定期考査 30 ① 実習態度 5 計100	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
2学期	第3回定期考査	グリーン・ツーリズム サツマイモの栽培 除草・かん水	<ul style="list-style-type: none"> グリーン・ツーリズムの知識の理解 グリーン・ツーリズムの活用方法を探求する姿勢 グリーン・ツーリズムについて地元の人から話を聞き、これからの山梨について考える能力 サツマイモの観察 	④ 定期考査 40 ① 授業態度 10 ③ 配布プリント 5 ② グループワーク 15 ③ 実習 15 ① 実習態度 15 計100	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
	第4回定期考査	市民農園 サツマイモの栽培 収穫 加工方法・活用	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の成立と背景を理解する サツマイモの収穫方法を理解する サツマイモの加工について調べ学習を行い、内容をまとめ、クラスで発表を行う 	④ 定期考査 40 ① 授業態度 10 ③ 配布プリント 5 ② グループワーク 15 ③ 実習 15 ① 実習態度 15 計100	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
3学期	第5回定期考査	観光農園・直売所	<ul style="list-style-type: none"> 観光農園を経営する上で必要となる知識を習得する どうすれば直売所での利益を上げることができるか考え、表現する。 	④ 定期考査 20 ③ 配布プリント 5 ② グループワーク 5 ④ 定期考査 20 ② グループワーク・発表 5 ③ 配布プリント 20 ① 授業態度 25 計100	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C

検定資格(時期) 諸費用(予定)	検定資格：必修では無いが、希望者は日本農業技術検定4級・3級の取得を目指し、テキスト・問題集を元に学習を行う。(テキスト代：約3000円、検定料約1500円) 諸費用：無し(農場への移動は学校自動車(農場バス)を使用。基本的に教室で授業を行う)
---------------------	---

履修にあたって
 本科目は、山梨の基幹産業である農業のうち、特に観光との繋がりを中心としている。いかに利益をあげるか、観光客を取り入れるかという点で、非常に重要な科目である。
 教科書の内容は座学を中心として行うが、春から秋にかけては農場で実習を定期的に行う。また、内容によっては、実験を行う。本科目は、指導要領に示されている通り、見学や実習を通して、市民農園やグリーン・ツーリズムの企画や運営を図る実践力を育てる。そのため、実習や見学が苦手な者、集団での活動やグループでの活動が苦手な者は履修を勧めない。

教科	農業 「職業ライセンス」	単位数	単位 2	学科・学年・コース・組	3年 総合学科 自由選択 B・環境緑地系列 (選択)
使用教科書	丙種 危険物取扱受験教科書 向学院				
副教材等	なし				

1 学習の到達目標

危険物取扱者試験において合格を目指した効果的、能率的な考え方でできる態度と能力を身につける。

2 科目の特色 (目標を実現するための重要点を含む。)

危険物取扱者の試験問題に焦点をあて、その内容について学ぶことにより、興味関心を持つことで、より安全な生活を考えられる態度と能力を身につけるとともに、生活環境に関する知識を高めてゆく。

3 学習の計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動 (指導内容) と評価のポイント	評価方法
1 学期	燃焼および消化に関する基礎知識	1 燃焼の基礎知識 ①燃焼の定義 ②燃焼の三要素 ③燃焼の難易 ④液体の燃焼 ⑤引火点・発火点 ⑥燃焼範囲・爆発範囲 ⑦燃焼の基礎知識問題	・燃焼について物理的、化学的に関する知識を理解することで、危険物について学ばせる。 ・点火源、酸素、可燃物の三要素を学び、消化の知識に役立てる。 ・燃焼に関する知識を得ることにより危険性と消火方法を理解する。	授業態度 ノート
		2 消化の基礎知識 ①消化の仕組み ②消化剤の特色 ③危険物取扱のできる危険物の消化方法	・除去効果、窒息効果、冷却効果などの効果と消化方法を化学的にとらえ、それぞれに適した消化方法を理解する。 ・消化剤には、水、強化液、泡、ハロゲン、炭酸水素ナトリウム、リン酸塩などのそれぞれの特徴を理解し、適した消化剤を使用する知識技術を身につける。 ・電気火災を含めた消火方法を理解する。	
2 学期	危険物の危険性	3 危険物の性質 ①共通する性質 ②燃焼範囲 ③危険物の廃棄と焼却について ④油類の流出の措置	・危険物それぞれについて物理的・化学的の性質を知ることで危険性や消火方法を選択できる知識を身につける。 ・酸素と危険物の混ぜる割合によって燃焼範囲にそれぞれ特徴がある事を理解する。 ・危険物の廃棄や焼却について確実に理解する。 ・油類が流出したときの措置方法を理解する。	練習問題 定期試験
		4 危険性について ①第1石油類 ガソリン ②第2石油類 軽油、灯油 ③第3石油類 重油、グリセリン ④第4石油類 キヤ-油、他 ⑤動植物油	・それぞれの危険物についての性質と危険性を理解し、取り扱う上で注意しなければならないことを理解する。	
3 学期	危険物に関する法令	1 法令 ①消防法における用語と意味と貯蔵 ②危険物の取扱と貯蔵 ③貯蔵量、取扱いの技術上の基準 ④製造所等の設置と用途廃止 ⑤製造所等の保安制度 ⑥使用停止命令条件 ⑦予防規定 ⑧免許状の種類と交付	・危険物の取扱に関する法令について細部にわたりを理解し、試験問題に備える態度の育成。	危険物取扱者 試験受験
	危険物に関する政令	2 政令 ①貯蔵所と取扱所の区分 ②製造所の位置、構造、設備の基準 ③貯蔵所の位置、構造、設備の基準	・危険物の取扱に関する法令について細部にわたりを理解し、試験問題に備える態度の育成。危険物に関する	
	危険物の規制に関する規則	3 規則 ①危険物の運搬に関する基準 ②消火設備区分 ③消火設備の設置基準 ④その他	・危険物の取扱に関する法令について細部にわたりを理解し、試験問題に備える態度の育成。	

4 特に強調しておきたい点 (留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。)

危険物取扱者試験を受験し、合格を目指しての授業展開となるため、それぞれのやる気と家庭での学習時間確保が重要となってくる筈なので、日頃から学習する態度と姿勢を身につける努力が必要となる。

5 評価規準 評価は、次の4つの観点から行います。

A 関心・意欲・態度	25%	危険物と環境問題の関連性について興味関心を示し、自ら積極的に学ぶ態度があるか。
B 思考・判断	25%	危険物の性質や消化方法について今後役に立てる知識と判断を身につけている。
C 表現・処理	25%	指定された危険物のそれぞれ特徴や特性を理解し適した消化方法を理解しているか。
D 知識・理解	25%	危険物取扱試験を受験した結果による。

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	家庭・食文化	単位	2	履修区分	必履修 ・ 選択
対象学年・類型・コース	3年・総合学科				
使用教科書	新版 基礎から学ぶ 「ビジュアル クッキング」 (教育図書株式会社)				
目標とする生徒の将来像	① 栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を身につける。 ② 健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について考え、実践することができる。 ③ 日本や世界の食文化について調査し、レポートにまとめ、発表をすることができる。				
評価の観点	【関心・意欲・態度】豊かな食事を構成する要素について関心を持っているか。意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。 【思考・判断・表現】現代の食生活を見直し、課題を見つけ、その解決を目指して、学んだ知識・技術を生かしたいいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し創造しているか。 食事に自分の考えを適切に表現しているか。 【技能】日常食に関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。食事のテーマに応じた献立作成や適切な食品材料の選択ができ、それに見合った調理の実践を行うことができるか。 【知識・理解】食事を総合的にデザインする基礎的・基本的な知識などについて、実際の食生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか。				
学期	期間	単元・教材名	主たる目標		評価の観点
1 学期	第2回定期試験	食文化について	<ul style="list-style-type: none"> 日本の各都道府県や世界各国の食文化や地域の歴史などを調べ、レポートにまとめる。 まとめたレポートを発表し、相互評価をしよう。 まとめたレポートは、その後活用できるようにする。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
2 学期	第4回定期試験	食物調理技術検定3級レベルの知識と技術	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習 (検定3級献立) 調理実習内容の基礎知識について学ぶ。(だしの取り方、食材の切り方、炒め物の基本等) 食品の概量が理解できるように、目測試験を行う。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
3 学期	第5回定期試験	行事食 お月見 クリスマス料理 おせち料理 桃の節句 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 行事食の調理実習を行う。 使用する食材の扱い方、基本的な調理技術等を学ぶとともに、行事と調理の関連性を理解する。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
検定資格(時期)	全国高等学校家庭科技術食物調理検定3級(前期7月・700円)				
・ 諸費用(予定)	前期で不合格だった場合、希望者は後期試験(後期1月・300円)受験可能				
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 食文化では、全国高等学校食物調理技術検定3級合格レベルの知識・技術を学んでいきます。 調理実習が多いので、エプロン・三角巾の準備、爪を短く切る・髪をまとめる等、身支度を調べて取り組んで下さい。 レポート作成を行うため、自ら学ぼうという強い意志のもと積極的に取り組んで下さい。 授業態度、プリントの記入状況および、提出状況、実習、定期考査の成績等から総合的に評価します。 				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	家庭・手話入門	単位	2	履修区分	必履修・必修	選択
対象学年・類型・コース	3年・総合学科					
使用教科書	「聴さんと学ぼう！」(全日本ろうあ連盟)					
目標とする生徒の将来像	手話についての歴史や必要性を理解する。 障害者の自立生活を支援するために実際に手話でコミュニケーションできる能力を養う。					
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 手話表現について関心を持っているか。意欲的、積極的に課題を解決しようとしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 学んだ知識・技術を生かしたいくつかの方法を比較検討し、意思決定をする等工夫しているか。 手話に関する自分の考えを適切に表現しているか。相手に意思が伝わるような、豊かな手話表現ができるか。</p> <p>【技能】 手話に関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。簡単な日常会話ができる程度の手話技術を習得しているか。</p> <p>【知識・理解】 手話の歴史やその必要性を理解しているか。聴覚障害者の生活の様子や課題について、理解しているか。</p>					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			主たる評価の観点・方法
1 学期	第2回 定期試験	<p>知っていること</p> <p>講座1 自己紹介をしてみよう</p> <p>講座2 あいさつをしてみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容について理解する。 伝える気持ちの大切さを理解する。 資料のDVD、授業プリント等に積極的に取り組む。 手話はどのようにして生まれ、どのようにして受け継がれ、発展してきたのか、その歴史を学ぶ。 手話で自分の名前、家族を紹介することができる。 友人の名前を手話で表現することができる。 初めて会った人へのあいさつや手話での質問方法を理解する あいさつから始まる簡単な会話を手話でできる。 			<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>
2 学期	第3回 定期試験	<p>講座3 手話がわからなかった時</p> <p>講座4 数字や時間の表現を覚えよう</p> <p>講座5 趣味のことを話そう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手話がわからなかったときの聞き返し方を理解する。 聴覚障害者への伝え方には、手話以外の方法があることを学ぶ。 数字や時間の手話を理解し、一日のことを手話で話すことができる。 趣味の手話を学び、趣味や好きなことを話すことができる。 *聴覚障害者の講義・交流 *家族、地域の人々とのコミュニケーションはどのように行うのかを知る。 *聴覚障害者情報センター見学 *情報機器設備、福祉用具の見学 			<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>
	第4回 定期試験	<p>講座6 行きたい場所の表現を覚えよう</p> <p>講座7 病気やケガで困ったとき</p> <p>講座8 お天気と乗り物の手話を覚えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 場所の手話を覚えながら、行きたいところの話ができる。 県名を手話で表現でき、また読み取ることができる。 指文字を使って、物の名称を表現できる。 急病の場面を例に、聴覚障害者が何か困ったときに何ができかを考えることができる。 病気の原因や症状、受診するまでを手話で表現することができる。 天気や目的地への行き方、場所について手話で話すことができる。 住所、乗り物、スポーツ、天気等の手話を理解する。 手話を使い、表現豊かに歌を歌うことができる。 *聴覚障害者の講義・交流 *聴覚障害者が、職場、病院、子育て等で困ることは何かを知ることができる。 *災害時には、音声情報以外の情報伝達方法も必要だと理解できる。 			<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>
3 学期	第5回 定期試験	<p>講座9 買い物とお金の手話表現を覚えよう</p> <p>知っていること</p> <p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 買い物場面での手話表現を学ぶ。 商品・金額・色等を手話で表現することができる。 *聴覚障害者の講義・交流 *耳の働き、聞こえの仕組み、聴覚障害者への福祉制度等を理解する。 			<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>
検定資格(時期)	7月受検					
・諸費用(予定)	手話検定6級(任意受検・受験料は受検者数により変動あり 3,500円~3,600円)					
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に物事をとらえて表現する力を養うとともに、伝えあう内容をふくらませて、視覚言語である手話を上達させて いて下さい。 技術を身につけるだけでなく、聴覚障害者者の生活の様子や課題について学習するとともに、生活に根ざした手話表現を学ぶようにして下さい。 授業態度・プリントの記入状況および提出状況、DVDの視聴状況、実技試験、筆記試験の成績等から総合的に評価します 					

教科・科目	商業・簿記実習	単位数	2	必修修	必修	選択
学年・系列・コース	3 学年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	原価計算 (実教出版) 財務会計 (実教出版)	副教材	全商簿記模擬試験問題集1級 原価計算 (実教) 全商簿記模擬試験問題集1級 会計 (実教) 日商簿記検定模擬試験問題集2級 (実教)			
目標とする生徒の将来像	① 会計・原価計算の基礎、基本的な考え方と技術を身につける。 ② 企業会計の意味、役割や制度を理解し、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用する能力を養う。 ③ 会計学を通して、ビジネスの活動、諸問題に目を向け、ビジネス活動を広くとらえられる。 ④ 全商簿記検定・日商簿記検定に向けて努力できる。					
評価の観点	① 企業会計の基礎や会計の原則を理解し、それぞれの会計処理が正確・迅速にできる。 ② 個別原価計算・総合原価計算の計算方法を理解しや会計処理が正確・迅速にできる。 ④ 日商簿記3級・全商簿記2級合格に向けて、地道な努力と思考力を養う。					
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力			評価の観点	
1 学期	財務会計の基礎 貸借対照表 損益計算書 財務諸表の活用 連結財務諸表	① 企業と会計 ② 企業会計制度と会計法規 貸借対照表に関する勘定科目の会計処理ができる 損益計算書に関する勘定科目の会計処理ができる 次の分析・連結処理ができる ① 財務諸表分析 ② 連結財務諸表			ノート・発言 テスト 授業態度の観察等	
2 学期	個別原価計算 総合原価計算 製品の完成・販売と決算 標準原価計算と直接原価計算	個別原価計算の会計処理ができる 総合原価計算の会計処理ができる 製品の完成と販売の会計処理ができる 標準原価計算を理解する 直接原価計算を理解する				
3 学期	日商簿記検定対策 全商簿記検定対策	実践問題				
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	日商協会主催『簿記検定試験2級』受験 11月第3・2月第4日曜日 全員受験・受験料4,630円 全商協会主催『簿記実務検定試験1級 会計・原価計算』受験 7月第4・1月第4日曜日 各受験料1,300円					
履修にあたって	日々変化・進歩しているビジネス社会で働くには、基本的な社会常識やビジネスマナーはもちろん、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理する能力が求められる。よって、財務諸表の作成とともに、そのデータを分析・活用する力をつけたい。 資格の取得はもちろんだが、これまで学んできた簿記の基礎を生かして、日々の授業に積極的に取り組むことと、新聞やニュース等で経済社会に積極的に目を向けること。					